

2016年4月14日



京急グループの社会貢献活動

薄膜太陽光設備 & 電気自動車を導入しました

CO2を削減し、環境負荷低減に貢献します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区 社長：原田 一之 以下、京急電鉄）は、京急グループの社会貢献活動の一環として、薄膜太陽光設備を南太田駅と金沢文庫駅に、電気自動車を金沢変電区に導入しました。

【薄膜太陽光設備の導入】

神奈川県補助金事業として南太田駅と金沢文庫駅（金沢文庫現業事務所を含む）に薄膜太陽光設備を導入いたしました。駅前街路灯や駅構内照明等の電源として活用しています。

【電気自動車の導入】

日産自動車株式会社の募集する「e-NV200 フリートモニターキャンペーン（商用自動車の3年間無償貸与）」に参加し、1台を金沢変電区の事業用車として活用しています。

過去の環境への取り組みとしては、京急百貨店の外商用営業車に同じくEV「日産リーフ」を3台導入、羽田空港国際線ターミナル駅に太陽光パネルの設置などを行っております。また、その他にも、省エネルギー対策として鉄道施設でのLED照明の導入、電力回生ブレーキの活用、ハイブリッドバスの導入等にも取り組んでおります。

京急グループでは今後も引き続き、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、環境保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。

詳細は別紙のとおりです。



薄膜太陽光パネル（金沢文庫現業事務所）



商用電気自動車「e-NV200」

薄膜太陽光設備と電気自動車の導入について

1. 薄膜太陽光設備

(1) 南太田駅

設置場所 南太田駅下り品川方ホーム屋根部

設置規模 薄膜太陽光パネル 18 枚

用 途 駅前広場山側LED街路灯 2 基の照明用電源

(2) 金沢文庫駅（金沢文庫現業事務所を含む）

設置場所 金沢文庫駅西口階段屋根部、金沢文庫現業事務所西側側面

設置規模 薄膜太陽光パネル 22 枚（金沢文庫駅）、54 枚（現業事務所）

用 途 駅コンコースおよび現業事務所内の照明用電源

※南太田・金沢文庫駅への薄膜太陽光設備の導入は、神奈川県補助金事業として実施します。

2. 電気自動車

導入車種 日産自動車 商用電気自動車「e-NV200」

導入台数 1 台

用 途 金沢変電区の業務用車両

そ の 他 車両は、日産自動車株式会社より 3 年間無償貸与

【カタログスペック】

充電走行距離 190km

充電時間 普通充電 8 時間 急速充電 30 分

そ の 他 非常時はバッテリーを電源として使用可能

（最大負荷 1,500W 電力消費 1,000W×8 時間）

京急グループ環境基本方針について

1. 京急グループ環境基本方針

「私たちは、あらゆる事業活動や社会貢献活動を通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に努め、持続的発展が可能な社会の形成に貢献します。」

2. 行動指針

- ・私たちは、環境にやさしい公共交通機関を中心に、さらなる利便性の向上と魅力ある沿線価値の創造に努めます。
- ・私たちは、資源やエネルギーの有効活用と、廃棄物の削減・再利用・再資源化への取り組みを通じ、環境負荷の低減に努めます。
- ・私たちは、次世代を担う子ども達に、より良い沿線環境を引き継ぐため、沿線の豊かな自然との共生・保全に努めます。
- ・私たちは、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にし、地域社会との協調・連携に努めます。
- ・私たちは、環境に関する法令等を正しく理解・順守するとともに、啓発・教育活動を通じて、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めます。